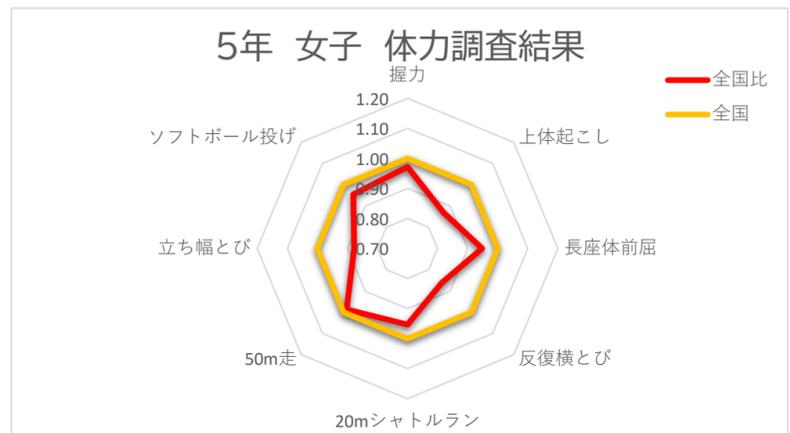
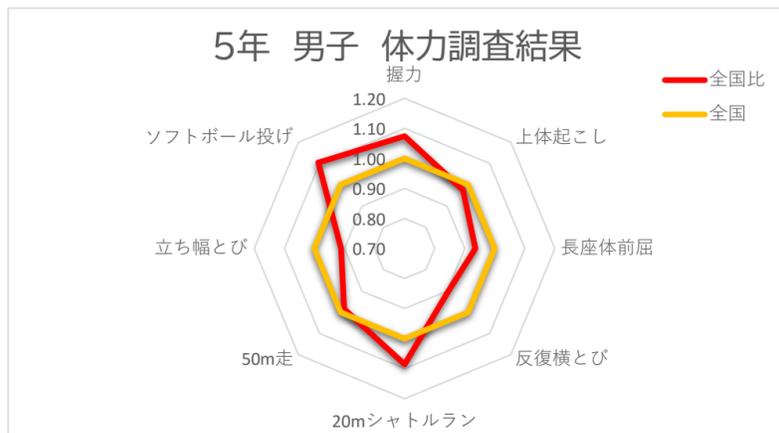
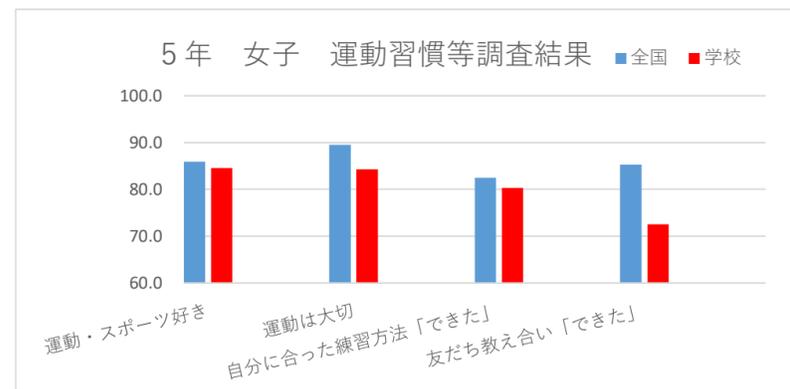
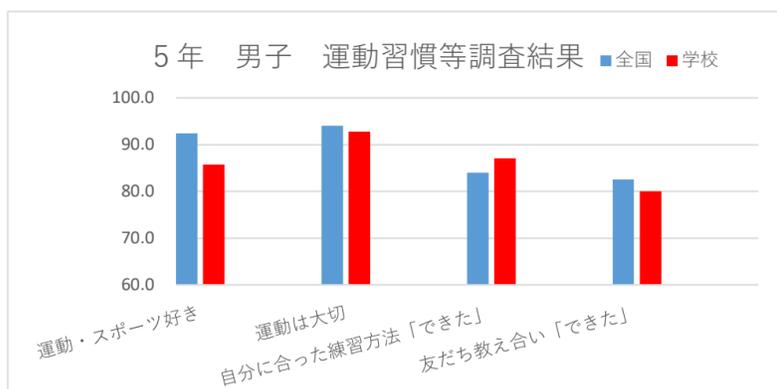


1. 現状（令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果より）



※全国の平均値を1として、学校の比を示しています。



※「運動・スポーツが好き」「運動は大切」「体育の授業は楽しい」については、肯定的な回答の割合を示しています。

2. 改善プラン

① 現状と課題

男女ともに上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳びが全国を下回っている。特に、反復横跳びと立ち幅跳びの数値が低く、俊敏性と跳躍力に課題がある。体育の授業が楽しいと肯定的に捉えている児童の割合が多い。一方、体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することを肯定的に捉えている児童の割合が少ない。1日の睡眠時間が7時間以上の割合が少し低い。

② 目標・めざす子ども像

運動に関心を持ち、協力して運動を楽しめる子の育成。
児童の俊敏性と跳躍力を高める。
健康を維持するために生活習慣や運動習慣を自ら整えることができるような子の育成。

③ 取組み

取組み内容	対象学年	取組時期	元気力としての観点			
			体力	保健	生活習慣	食育
保健だよりで朝食や睡眠の大切さについて伝えていく。	全学年	毎学期		○	○	○
縄跳びカードを配布し、縄跳び週間の実施する。	全学年	11月～1月	○		○	
体育カードを活用していく。	全学年	通年	○			
二測定時に、養護教諭から基本的な生活習慣について指導する。	全学年	9月		○	○	○
体育委員会が運動場での遊び方を全校に伝える。	全学年	11月	○		○	
授業に鬼ごっこやしっぽ取りなど方向転換をする補助運動を取り入れる。	全学年	3学期	○			
一日の生活を考える中で、睡眠や朝食の大切さについて指導する。	高学年	1学期		○	○	○
器械運動を中心に、技のビデオを撮って、共有する。	教職員	1～2学期	○			